

こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、現在10名の協力隊が移住し、地域活動に関わっています。

平成30年度から地域おこし協力隊として活動している仲間をご紹介します！

一般隊員として、アジア、ヨーロッパ諸国から増えている外国人観光客や、大分県で開催されるラグビーワールドカップ2019等の世界的イベントの開催にあたって増加が見込まれる外国人観光客の受け入れ環境の整備を目的に活動する大東 淳(だいとう じゅん)さん、野津地域で盛んな農村民泊など、グリーンツーリズムによる地域活性化を目的に活動するフィンガー 陽子(ようこ)さん、2名が採用されました。

有機農業隊員として、林 大吾(はやし だいご)さん、洲崎 敦子(すざき あつこ)さん、山田 茉莉子(やまだ まりこ)さん、3名が採用されました。ほんまもん農産物の栽培、PR、販路拡大等で汗を流しています。臼杵を元気にしてくれている地域おこし協力隊。見かけた際には、ぜひ声をかけてください！

大東

大学卒業後20年近く仕事や研究を通じて国際協力に従事していました。1～3年で海外を転々とせざるを得なかった状況(オーストラリア→オランダ→ニジェール→フィジー→イギリス→アルゼンチン→香港→ブラジル→香港)、日本の技術や経験を移転できていないことや外部者としての関与に限界を感じていました。「他人事」ではなく「自分事」として地域おこしに関わりたい、数年では地域おこしは難しいと思っていましたので、臼杵を自分のホームにして地域おこしや情報発信に努めてまいります。外国人観光客の受け入れ環境の整備だけではなく、臼杵と世界とのつながり(昔も今もあるある!)を皆さまで一緒に(再)発見し、まちづくりに貢献できたらと思っています。



任命式の様子



採用試験前日に飲んだ栄養ドリンク
(臼杵ポウル)



毎朝6時に鳴る目覚まし時計
(時の鐘)

フィンガー

横浜生まれの横浜育ちで、大学は東京へ、就職は神奈川でと、都心での生活を堪能していました。その後、オーストラリアに留学し、主人と出会い、結婚して現地で、8年間暮らしていました。多民族国家で暮らした時間は、自分の価値観を揺さぶられることも多く、とても楽しかったです。現在は主に、うすきツーリズム活性化協議会の支援を中心に活動しています。野津地域で盛んに行われているグリーンツーリズム(農泊)は、お客様を迎える準備からその対応まで幅広く調整することが多く、現在は、その活動のサポートがメインになっています。今後は、臼杵市の観光分野で、他の組織の方とも協力しながら、臼杵を盛り上げていきたいと思っています。



任命式の様子



日々の活動
(農泊家庭と宿泊者の橋渡し)



好きな景色は山の稜線

地域おこし協力隊(有機農業隊員)

- ①年齢
- ②前住所
- ③現住所



やまだ まりこ
山田 茉莉子

- ①30歳
- ②埼玉県坂戸市
- ③野津町

はやし だいご
林 大吾

- ①28歳
- ②兵庫県明石市
- ③野津市

すぎき あつこ
洲崎 敦子

- ①35歳
- ②大阪府河内長野市
- ③中臼杵

林

元々ハカリのメーカーで仕事をしていたのですが、沖縄旅行の際に触れた大自然に感動し、もっと自然に関りのある仕事を生業にしたいと考えようになりました。その後約1年間、社会人向けの週末農業塾に通い農業の楽しさや農的生活の素晴らしさを知りました。そんな中、偶然、地域おこし協力隊制度を知り、コレだ！と感じて情報収集を開始。臼杵市が市をあげて有機農業に取り組んでいることに魅力を感じ、この地で有機農業をやっていくことを決めました。地域おこし協力隊の活動を通して、“有機の里うすき”を一層広めていきたいと思えます！

洲崎

私は4月から中臼杵に暮らし、野津で研修を始めました。まだ短い期間ですが、たくさんの方々とふれあい、ますます臼杵が好きになっています。おぼつかない手つきで農作業をしていると、近所の方や近くの方々が手助けしてくれたり、栽培のヒントを教えてくれたりと、日々助けていただいています。今は助けてもらうばかりですが、一人前になったら今度はそのお返しをしていけるよう、その気持ちを励みに、また美味しくきれいな野菜を出荷できるよう精一杯努めていきます！

山田

私は今年の5月から有機農業隊員として野津町で活動しています。大学時代は管理栄養士の勉強をしていたため、食への興味・関心は以前からありましたが、F1や固定種在来種・種の自給・パーマカルチャーの話を知ったことがきっかけで、有機農業を知り、自然の循環を意識した農法であるという考え方に感銘を受け、農業の世界に入りました。今は至らない点も多々ありますが、3年間で農業の基礎・土台をしっかりと築き、卒業後は自分の農園を持ち、固定種在来種専門、少量多品目の有機野菜の生産・販売・(ゆくゆくは)woofの活動を行っていけるように頑張ります！